

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	交付対象事業の名称	事業内容（目的・効果）	事業の対象	事業実施状況	効果・評価 今後の方向性	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	地方創生 臨時交付金 充当	国庫補助金 等	一般財源	担当課
1	コロナウイルス侵入防止協力金交付事業	県外客の来島自粛により影響を受けた村内事業者に対して協力金を給付する。	村内事業者	宿泊事業者向け協力金を給付。 13事業者 3,179,000円 (5月～10月、1月～3月)	13事業者へ3,179千円の協力金を給付し、新型コロナウイルスで影響を受けた事業者の支援を行った。 今後も感染症拡大の動向に注視し、事業継続、景気回復への対策を検討する。	①-Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R3.5	R4.3	3,179	3,179			定住促進課
2	隔離施設整備事業	医療体制の脆弱な本村は、各地区に診療所を設置し、看護師2名体制(医師は村内診療所を巡回)である。現在は、村内へコロナウイルスを持ち込まないよう対策を講じているが、離島である本村に感染者が発生した場合に隔離できる施設の改修を実施する。	村民	隔離施設整備 竹島 設計監理委託: 550,000円 工事 :8,360,000円 大里 設計監理委託: 660,000円 工事 :4,554,000円	隔離施設を整備し、感染拡大防止につなげられる環境を整備することができた。 今後も隔離施設を活用し、感染拡大防止に努める。	①-Ⅰ-3. 医療提供体制の強化	R3.4	R4.3	14,124	14,124			民生課
3	フェリーみしま感染対策事業	離島である本村において、フェリーは住民の唯一の交通手段である。住民はもちろん観光客も利用するフェリーであり、抗菌作業を実施し、また船員向け感染対策研修を実施する。	村民 観光客 フェリーみしま利用者	抗菌・抗ウイルスコーティング施工等委託: 3,608,000円 (委託料内訳) 無光触媒抗菌・抗ウイルスコーティング作業: 3,300,000円 銀イオン除菌・抗菌ミスト空間噴霧装置: @22,000円×4台 銀イオン水55,000円/20L×4=220,000円 (追加) 銀イオン水55,000円/20L×7=385,000円	フェリー内の抗菌・抗ウイルスコーティングを施工し、村内へのウイルス侵入をできるだけ防止した。あわせて、船員への感染対策研修を実施し、船内での感染症対応を周知することができた。 今後もフェリー内での感染拡大防止に努める。	①-Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R3.5	R4.3	3,993	3,993			総務課
4	テレワーク環境等整備事業	①「働き方の新しいスタイル」を構築し、「新しい生活様式」を目指すため、オンライン会議のためのパソコンやテレワークのためのタブレットを購入する。	教育委員会職員	パソコン・タブレット購入 パソコン9台 ヘッドセット5台:1,782,000円 タブレット6台:285,780円	オンライン会議やテレワークできる備品等を整備し、「働き方の新しいスタイル」の構築につなげることができた。 今後も感染状況に応じた働き方に努めていく。	①-Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	R3.9	R4.3	2,067	2,067			教育委員会
5	GIGAスクール推進事業	コロナの影響で臨時休校となっても学びの機会が与えられ、また今後、新しい生活様式としてICTの活用が必要となる。機器活用のためのソフトウェアやデジタルコンテンツを導入することで、遠隔教育の推進を図る。	児童生徒	オンライン授業実施のためのシステム及び共有ソフトウェアの導入。NIE推進のためのデジタル新聞の導入。 ロイノート 81名分:89,100円 @1,100円/人・年×81名 ZOOM利用料:165,000円 @33,000円×4学園・教育委員会 新聞(デジタル:児童生徒用):79,200円 @990円×80名 新聞(デジタル:学園用):52,800円 @1,100円/学園・月×4学園×12月	オンライン授業のためのシステムやソフトウェア等を導入し、コロナ禍における遠隔教育の体制を整備することができた。 今後も遠隔教育を活用し、学びの機会を確保していく。	①-Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R3.4	R4.3	386	386			教育委員会
6	水際対策事業	離島である本村にコロナウイルスを持ち込まないようにするため、出港前(7:30～9:30)及び本庁来庁者の健康観察(問診・検温等)を実施。ワクチン接種等に伴う準備・後処理等並びに子どもへのワクチン接種(島外接種)随行の実施	住民 来庁・来島者	村内へウイルスを持ち込まないための対策経費 出港前の健康観察にかかる職員の時間外勤務手当(4～3月) 27名:1,479,703円	令和2年度に引き続き、島内へコロナウイルスを持ち込まないようにするための健康チェックの体制を確立できた。 今後も、健康チェックと住民自らの健康チェックで感染防止に努める。	①-Ⅰ-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	R3.4	R4.3	1,480	1,480			総務課
7	事業継続支援金	①新型コロナウイルスの感染拡大による来島者の減少によって影響を受けた村内宿泊事業者等の事業継続と業績回復を図ることを目的とし支援金を給付する。	村内事業者	2019年(もしくは2020年)4月～9月と2021年同期比の事業収入を比較減少している割合に応じて支援金を給付する。 支援金:600,000円 @50,000円×4事業者 @100,000円×2事業者 @200,000円×1事業者	7事業者へ600千円の事業継続支援金を給付し、新型コロナウイルスで影響を受けた事業者の支援を行った。 今後も感染症拡大の動向に注視し、事業継続、景気回復への対策を検討する。	①-Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R3.9	R4.3	600	600			定住促進課
8	安全安心避難所事業	本村は台風などの自然災害の多い地域であり、避難所へ避難してくる住民は多い。密集した空間であり、感染防止対策が必要である。しかしながら、台風等で停電になることも多く、空気清浄機等による十分な換気ができないことが予想され、コロナウイルス感染を予防するためにも、避難所に蓄電池を設置する。	住民 避難所	蓄電池の整備 蓄電池:1,751,200円 @437,800円×4ヶ所	避難所での感染症対策として備品を整備し、コロナ禍にける避難所の準備をすることができ、避難所での感染防止につなげることができる。	①-Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R4.2	R4.3	1,751	1,751			総務課

No	交付対象事業の名称	事業内容（目的・効果）	事業の対象	事業実施状況	効果・評価 今後の方向性	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	地方創生 臨時交付金 充当	国庫補助金 等	一般財源	担当課
9	学校保健特別 対策事業費補助 金	学校再開に際して、感染症対策を徹底しながら児童及び生徒の学習保障をするため、学校教育活動の再開を支援する。	村内学園 (児童生徒、教職員等)	<p>学校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう学校教育活動の再開を支援する経費に対して補助を行う。</p> <p>各学校への補助 竹島学園： 1,799,055円 硫黄島学園： 1,799,692円 大里学園： 1,846,846円 片泊学園： 1,799,728円</p>	各学校における感染対策に必要な物品を整備することができた。今後は、学校内での感染防止に努める。	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.4	R4.3	7,200	3,600	3,600		教育委員会
令和2年度から継続事業分													
10	疑似感染者対策事業	疑似感染者の往診並びに本土への搬送費用並びに消毒用機材整備、本土での滞在費用	村内4診療所	<p>滞在費用 : 224,589円 抗原検査キット 250個 : 1,233,950円 心電計 2台 : 1,730,080円</p>	感染者発生した際の備品等を事前に準備し、あわせて本土への搬送方法等の確認を行うことができた。今後も、感染拡大防止に努め、感染者への適切な対応を行っていく必要がある。	I-3. 医療提供体制の強化	R2.4	R3.4以降	3,188	3,188			民生課
11	しおかぜ留学生感染確認事業	県内外から受け入れているしおかぜ留学生の長期休暇終了後、帰島する前の感染確認のための滞在費用、並びにPCR検査受診	しおかぜ留学生・保護者	<p>しおかぜ留学生滞在費用 旅費 : 198,700円 食料費 : 239,130円 PCR検査代 : 513,800円</p>	事前に感染確認を行うことで、島内でのコロナウイルス感染予防に努めた。今後もコロナウイルスを島内へ持ち込まない対策に努める。	I-5. 帰国者等の受入れ体制の強化	R2.4	R3.4以降	951	951			教育委員会
12	特産品販売支援事業	コロナウイルスの影響により青果としての販路が大幅に減少した大名たけのこや焼酎等特産品の販売支援と新商品開発等検討	村内たけのこ生産者 村内農業者 焼酎事業者	<p>新たな販路発掘と販売支援のための環境整備 販売広告経費 495,000円 PRデザイン作成業務委託 110,000円 冷蔵機材リース料 200,000円 専門家による調査研究経費 調査旅費 25,200円×2人×3回 試験材料費 153,800円 試験材料輸送経費 70,000円 試験研究業務委託 770,000円 テストキッチン使用料 50,000円 焼酎みしま村PR制作(テレビCM、新聞広告、ポスター等) テレビCM制作業務委託 700,000円 テレビCM放映料 550,000円/月×3ヶ月 新聞広告業務委託 1,000,000円(関東圏、福岡圏) ポスター制作業務委託 300,000円 ポスター撮影用謝金 20,000円×2回 ポスター写真材料代 18,000円 撮影用衣装・機材リース料 50,000円 販促用カードデザイン制作業務委託 150,000円 販促用カード印刷費 28円×4,000枚 販路開拓サンプリング商品 300,000円 先進地研修視察 322,000円 新規特産品試験販売 60,000円</p>	本事業の取り組みにより、たけのこの新たな販売形態が確立され、生産者の経営支援に大きく貢献した。焼酎事業のPR活動により認知度が向上し、販売額も増加している。引き続き、本事業で制作した販促物の活用と試験研究の継続により村内事業者の安定的経営に向けて取り組んでいく。	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.5	R3.4以降	6,700	6,700			定住促進課
13	コロナウイルス侵入防止協力金給付事業	県外客の来島自粛により影響を受けた村内事業者に対して協力金を給付する。	村内事業者	<p>事業者向け協力金 14事業者 482,000円</p>	14事業者へ482千円の協力金を給付し、新型コロナウイルスで影響を受けた事業者の支援を行った。今後も感染拡大の動向に注視し、事業継続、景気回復への対策を検討する。	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.4	R4.3	482	482			定住促進課
14	安全安心避難所事業	本村は台風などの自然災害の多い地域であり、避難所へ避難してくる住民は多い。密集した空間であり、感染防止対策が必要である。しかしながら、避難所は狭いことから、感染防止対策用の資材並びに非常用備蓄品のための倉庫を整備する。あわせて、強化ガラスのみの避難所に雨戸を設置し、窓のそばまで空間を活用できるよう整備する。	住民	<p>備蓄倉庫設置工事 3,410,000円×4地区</p>	各地区に備蓄倉庫を整備し、感染防止対策用の資材や非常用備蓄品を収納し、自然災害等における避難所での感染対策に寄与できる。	I-5. 帰国者等の受入れ体制の強化	R2.6	R4.3	13,640	13,640			総務課

No	交付対象事業の名称	事業内容（目的・効果）	事業の対象	事業実施状況	効果・評価 今後の方向性	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	地方創生 臨時交付金 充当	国庫補助金 等	一般財源	担当課
15	水際対策事業	離島である本村にコロナウイルスを持ち込まないようするため、出港前(7:30~9:30)及び本庁来庁者の健康観察(問診・検温等)を実施。また、住民等の体調管理の徹底。	住民 来庁・来島者	村内へウイルスを持ち込まないための対策経費 出港前の健康観察にかかる職員の時間外 勤務手当 16名 363,119円 出港前の健康観察にかかる健康チェック委託 969,981円	令和2年度に引き続き、島内へコロナウイルスを持ち込まないようにするための健康チェックの体制を確立できた。また、健康記録手帳により体調管理を実施することで、住民の感染予防の周知を図ることができた。 今後も、健康チェックと住民自らの健康チェックで感染防止に努める。	I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	R2.4	R4.3	1,333	1,333			民生課 総務課
16	関係人口拡大と地域魅力向上サポート事業	島民と都市部の方々とオンラインで交流の機会を提供し、またファンクラブを設立。コロナウイルス感染収束後を見据え、観光客並びに関係人口拡大を図る。	住民 観光客 三島村応援者	オンラインイベント経費、ファンクラブ設立経費 [オンラインイベント] 旅費 2泊3日 25,320円×10回 イベント開催業務委託 3,258,750円 ポケットwi-fiレンタル 80,000円 宅配送料 50,000円 消耗品 33,050円 [ファンクラブ設立] 会員証・チラシ印刷費 20,000円 ノベルティー(エコバッグ)購入費 200,000円 ファンクラブデザイン作成業務委託 400,000円 ホームページ(ファンクラブ募集)改修委託 120,000円 切手代 @250円×500通	オンラインを活用した新たな交流機会の創出と住民の起業活動のきっかけ作りにつながった。 ファンクラブ設立以降、会員数が200名を超えており、ファンクラブによる村内特産品の売り上げ贈にも貢献した。 今後、オンラインイベントやPR活動によりファンクラブ会員を増やし関係人口の拡大に努める計画である。	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	R2.10	R3.4以降	4,540	4,540			定住促進課
17	地域の新しい取り組みへの支援事業	新型コロナウイルス感染症収束後に備え、地域経済の維持、活性化を目的として、地域の特産品・サービス開発に関して、団体・個人のチャレンジ支援のため奨励金を給付。やりたかったことを実現させるきっかけを作る。 公募型 団体 上限 500,000円 個人 上限 250,000円	村内事業者 住民	チャレンジ補助金 2件 722,212円	2件722千円のチャレンジ補助金を給付し、コロナ収束後を見据えた住民等へのチャレンジを支援した。 今後もコロナ収束後に備え、住民等のやる気の醸成を図っていく。	Ⅱ-2. 資金繰り対策	R2.10	R3.4以降	722	722			定住促進課